

宮城県看護協会 平成30年度潜在看護職員復職研修

9月6日～11日の4日間にわたり潜在看護職員復職研修が開催され、その中の1日をスキルスラボの施設で実施しました。この研修は、看護職の免許を有し現在業務についていない方、又は知識・技術に不安のある方が、最近における看護の知識及び技術を修得することによって職場復帰を容易にすることを目的とし、宮城県看護協会が主催しているものです。今年は12名の方が参加されました。

研修は午前・午後の二部構成で実施され、午前の研修では、「患者急変時の対応・救急蘇生の実際」について、東北大学病院高度救命救急センター・集中ケア認定看護師の齋藤茜様にご指導いただきました。前半の講義では、急変は起こりうるものだが、患者の状態変化の早期発見と準備、そして状態変化への迅速な対応が重要であり、看護師としてできることは何かお話ししていただきました。また、参加者の皆さんは二人一組となり、心肺蘇生法とAEDの使用について、心肺蘇生法成人シミュレータを用いて一連の流れを実施しました。

午後の研修は、「医療機器の安全使用」について、東北大学病院東16階病棟副師長の菅野工リ子様にご指導いただきました。参加者の皆さんは、現在臨床で使用されている医療機器に実際に触れ、時折参加者同士で意見を交わしながら説明を興味深く聞いていました。

参加者からは、以前とは変わった点もあり不安な部分もあるが、今回の研修で自信が持てたという声も聞かれ、有用な研修となりました。

